

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
1 5 2	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
<p>Maternal risk factors for fetal alcohol syndrome in the Western cape province of South Africa: a population-based study          胎児アルコール症候群に対する母親の危険因子:南アフリカ西ケープ州における地域集団を対象にした研究</p>	
執筆者	
May PA, Gossage JP, Brooke LE, Snell CL, Marais AS, Hendricks LS, Croxford JA, Viljoen DL.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Am J Public Health. 2005;95:1190-9.	
キーワード	
胎児アルコール症候群、危険因子、アルコール、喫煙	
要 旨	
<p>胎児アルコール症候群(FAS)の危険因子を探索する目的で、FAS の小学校 1 年生をもつ母親 53 人(症例)と無作為に選ばれた対照の母親 116 人を対象に症例・対照研究を実施した。</p> <p>結果として、社会経済的因子、宗教、教育、妊娠時の状態、経産歴、婚姻状態などで症例と対照で差がみられた。FAS の母親は多量飲酒が普通に行われているアルコール依存の家族から出ており、対照の母親はアルコールをほとんど摂取していなかった。ケースでの現在および過去の飲酒摂取では、週末の多量飲酒、妊娠時にも飲酒量が減少しない、などの特徴が見られた。</p> <p>妊娠時の喫煙割合はケースの方が対照よりも高かったが、喫煙本数は症例の方が低かった。従来の FAS の危険因子である人口学的因子(身長、体重、頭囲、BMI)において症例の母親が対照よりも小さいことから、劣悪な栄養状態や二世帯におよぶアルコールの影響を示唆された。</p>	